携帯無線機(FTH−107)取扱説明書

● 無線機本体

使用時間の目安

使用できる時間の目安※は次のとおりです。

ニッケル水素電池(FNB-107) ➡ 約24時間
アルカリ乾電池 ➡ 約30時間

電池残量はアイコン表示で知らせます。

➡ まだ使えます。
➡ 少なくなりました。
➡ 残りわずかです。
➡ すぐにニッケル水素電池(FNB-107)を充電してください。(すぐに電池を交換してください。)

※6秒送信、6秒受信、48秒待ち受けの測定条件になります。左記の使用時間は目安ですので、実際に使用できる時間は、使い方や周囲の温度などによって異なります。

1.電源を入れる

オレンジのボタンを長押し(約0.5秒)すると電源ONになります。
電源が入ると「ピッ」電子音が鳴ります。

2.音量を調整する

モニターの右上にあるツマミが音量調節ツマミになります。
右に回すと音量が上がります。

3.送信/受信の切替

送信(PTT)スイッチを押し続けている間は送信、
離すと受信状態になります。

4.電池残量を確認する

ディスプレイのアイコンで確認してください。
残量については右図の"電池残量の表示"を参照してください。

● 通話方法

▲ボタンまたは、▼ボタンを押して、相手と同じチャンネルにします。
通話(PTT)スイッチを押しながらマイクロフォンに向かって話します。通話(PTT)スイッチを離すと、相手の話を聞くことができます。

連続して送信できる時間は3分以内で、その間ディスプレイに"通話"が表示されます。
3分間連続して送信し続けると、送信は自動的に停止します。
また、相手の信号を受信しているときには、通話(PTT)スイッチを押しても送信できません。

● ボタンをロックする

MODEボタンを長押し(約1秒)すると、「ピピッ」と鳴ってボタンがロックされます。
がディスプレイに表示されます。

ロックを解除するには、再度MODEボタンを長押し(約1秒)すると「ププッ」と鳴ってボタンのロックが解除されます。
がディスプレイから消えます。

● 充電方法

ACアダプター(PA−107)とチャージャースタンド(CD−44)をつなげ、ACアダプターをAC100Vのコンセントに差し込みます。
Ni−Cd電池(FNB−107)を入れたトランシーバーを差し込みます。正しく差し込まれるとLEDが赤く点灯します。
約8時間で充電が完了します。

● 電池

電池使用持続時間

実際の使用状況によって時間は変化します。特に送信が多くなると使用時間は短くなります。

ニッケル水素電池(FNB−107)	→	約24時間
アルカリ乾電池	→	約30時間

● 注意点

長時間使用しない場合はニッケル水素電池(FNB−107)を取り外しておいてください。
ニッケル水素電池(FNB−107)または、市販の単三形乾電池以外の電池は絶対に使用しないでください。
指定以外のニッケル水素電池を充電しないで下さい。
長時間(24時間以上)充電したままにしておくと、ニッケル水素電池を劣化させることがあります。

● 正常に動かないとき(オールリセット)

リセットを行うと登録した内容は全て消去され、工場出荷時の"初期値"戻ります。
▲ボタン、MODEボタン、▼ボタンを同時に押しながら電源を入れます。電子音が鳴ると操作は完了です。